

湘南OT交流会 2022

『作業科学』

福岡リハビリテーション病院

田代 徹

不安の強い事例の作業を フロー理論で分析してみた

事例紹介



脳出血発症

回復期転院

両親家に退院

独居生活

急性期病院入院

仕事を退職

外来リハ開始

診断名：脳出血、高次脳機能障害なし

家族：独居

仕事：発症後、退職

病歴：ADL自立して回復期病棟を退院→外来リハへ移行

身体状況：移動は杖歩行自立、ADL自立

麻痺の状況：Br .stage 上肢Ⅲ・手指Ⅲ・下肢Ⅳ

初回の本人の状況



退院したけどまた一人で暮らせるのかしら・・・

仕事また始めたいけど自信がない

外歩くのが怖いです(転びそう)

左手が動かないでうまくできないことが多い

家事なんとかやってみます

ADL自立しているし、家事にも取り組めるが、先行き不安が強い

OTの考え方

上肢麻痺が強く、手の機能回復の希望が強い
今後は再就職を目指しているが大丈夫か？
もっと外は歩けそうだけども・・・
一人暮らしするには、家事の練習しなくては



初回の目標設定

| 作業課題 | 満足度 |
|--------------------------|-----|
| 「一人でカートに物を入れる、外が歩きやすくなる」 | 1 |
| 「フライパンや鍋を支えられる」 | 2 |
| 「両手で荷物などを持って移動する」 | 2 |
| 「ドライヤーや髪をとめる」 | 3 |
| 「袖を通す時に肘を伸ばせる（スムーズに）」 | 3 |



個別リハの内容

1

上肢機能訓練



2

歩行訓練

リハ室



3

物を持って歩く

リハ室でカゴを持ちながら実施



個別リハの結果



大きく変化なし



室内バランス◎



リハ室でカゴを持ちながら実施

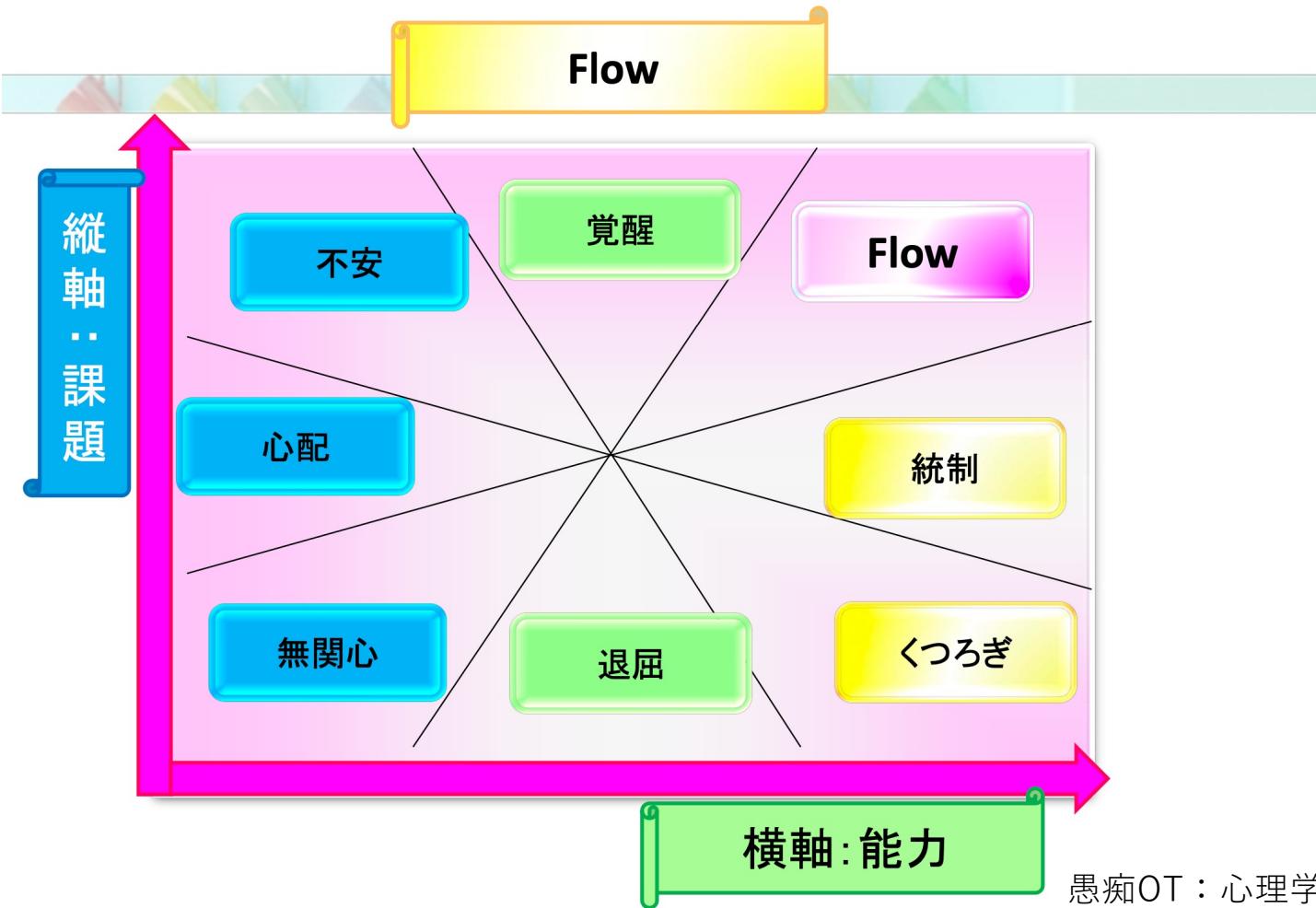


3ヶ月後の再評価

| 作業課題 | 満足度 | 再評価 |
|--------------------------|-----|-----|
| 「一人でカートに物を入れる、外が歩きやすくなる」 | 1 | 2 |
| 「フライパンや鍋を支えられる」 | 2 | 2 |
| 「両手で荷物などを持って移動する」 | 2 | 3 |
| 「ドライヤーや髪をとめる」 | 3 | 2 |
| 「袖を通す時に肘を伸ばせる（スムーズに）」 | 3 | 3 |

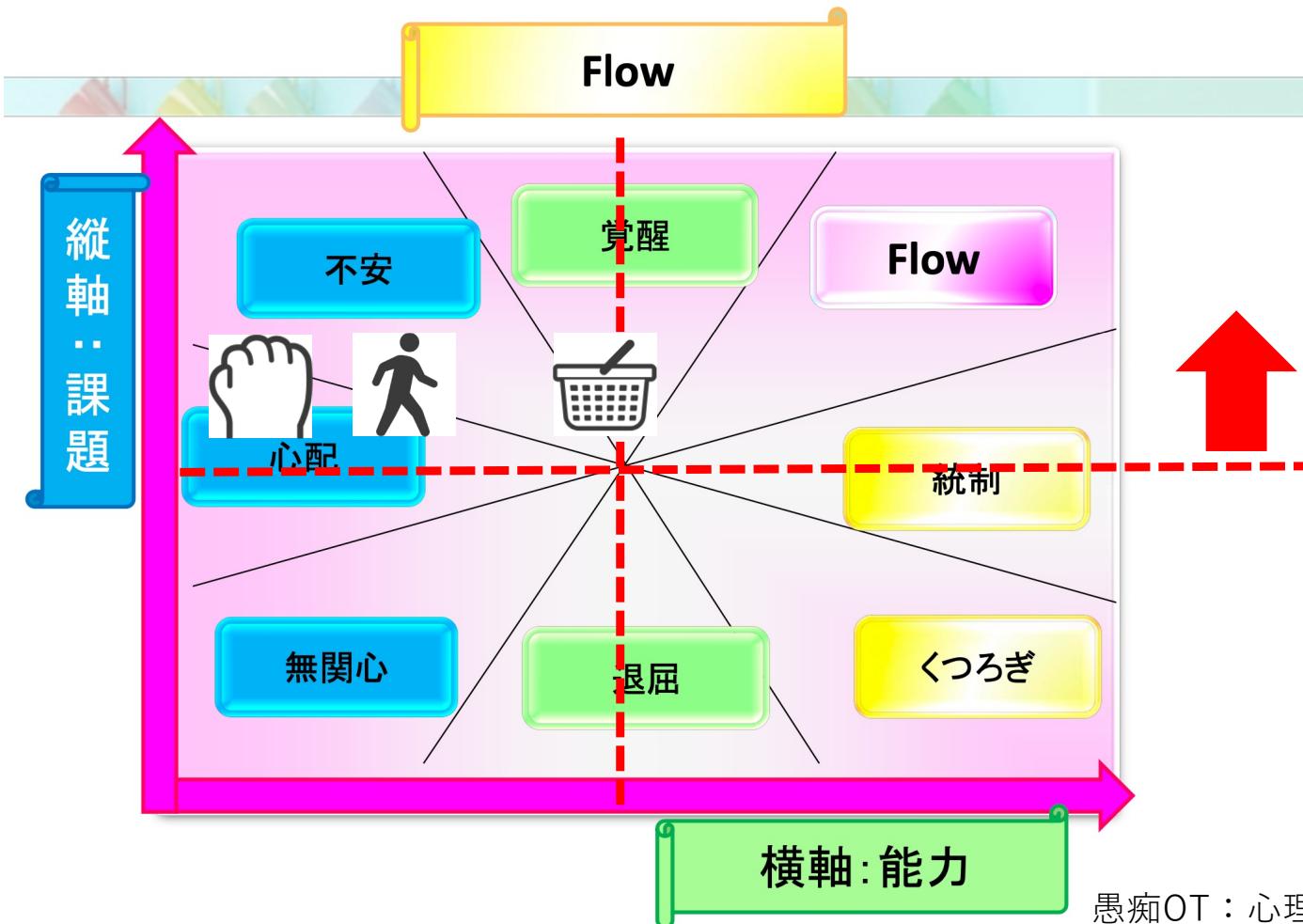


リハ課題の難易度



愚痴OT：心理学と作業療法①, 愚痴本シリーズ①

リハ課題の難易度



課題の難易度が高く
本人の能力が合ってない

フローの条件

目標設定

ゴールが明確である

フィードバック

やっていろことのフィードバックが即座にある

活動と能力

行っていることの難易度が自分の能力と釣り合っている

注意の集中

今行っていることに完全に集中している

気にならない
日常生活の雑事やフラストレーションが全く気にならない

コントロール感
人生・行動をコントロールできているという実感がある

自己意識の消失
自己意識がなくなる。他人が自分をどう見ているかという思いから無縁の状態。

時間感覚の変容
時間の間隔が全く変わってしまう。1時間が数分に感じられたり、あるいは逆に長時間感じられたりする

フローの条件

目標設定

ゴールが明確である



フィードバック

やつていろいろこのフィードバックが即座にある



活動と能力

行っていることの難易度と自分の能力と並り合っている



注意の集中

今行っていることに完全に集中している



気にならない

日常生活の小事やフラットトレーショングも全く気にならない



コントロール感

人生・行動をコントロールできているという実感がある



自己意識の消失

自己意識がなくなる。他人が自分はどう見ているかという思いから無縁の状態。



時間感覚の変容

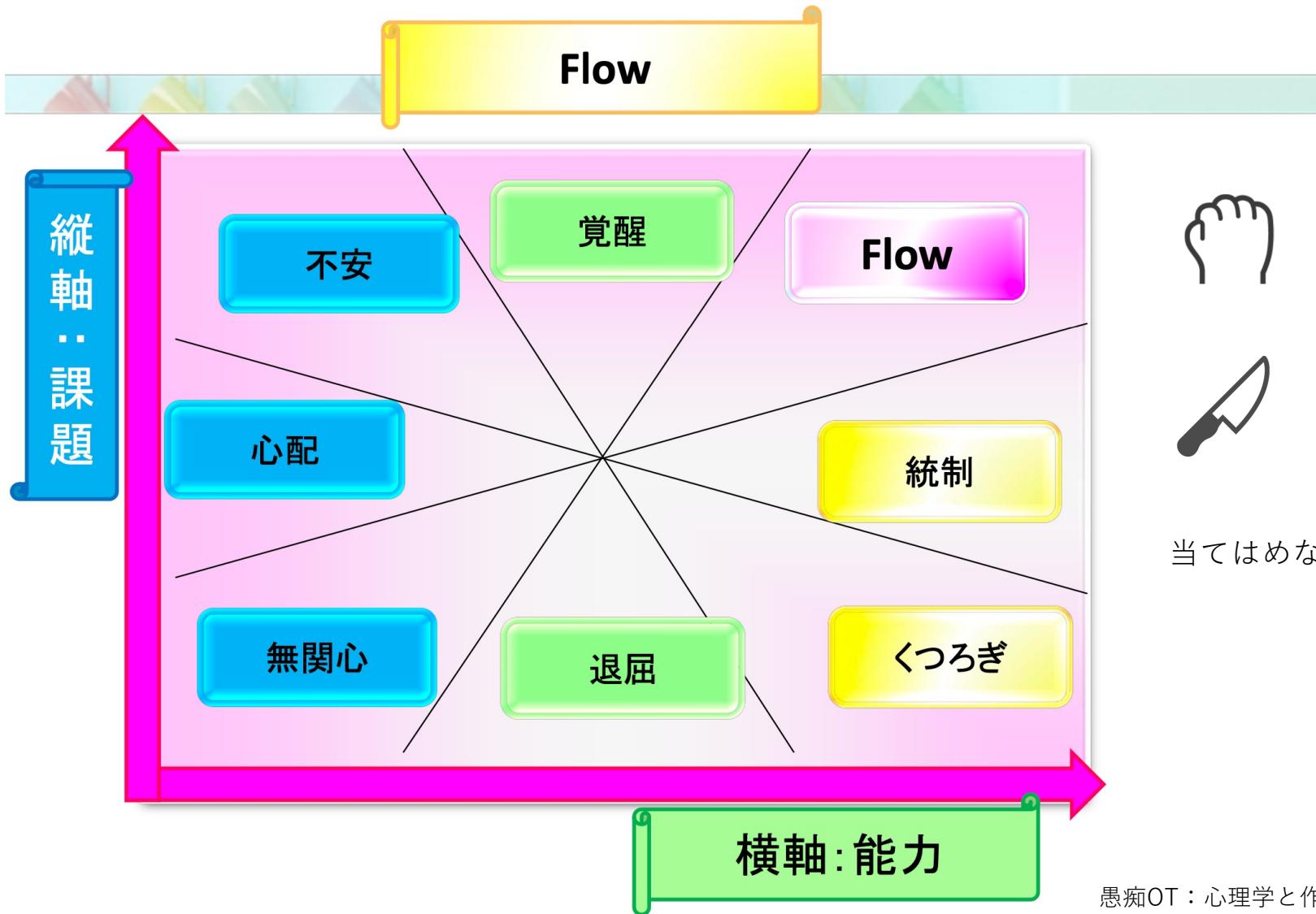
時間の間隔が全く変わってしまう。1時間が数分に感じられる。あるいは逆に1時間感じられる



Discussion

みなさんならどのように介入しますか？

フロー図や8つの条件に当てはめながら考えてみよう！



当てはめながら考えてみよう！

フローの条件

○・▲・×を当てはめながら
考えてみよう！

目標設定

ゴールが明確である

フィードバック

やっていろことの
フィードバックが
即座にある

活動と能力

行っていること
の難易度が自分
の能力と釣り合
っている

注意の集中

今行っているこ
とに完全に集中
している

気にならない
日常生活の雑事
やフラストレー
ションが全く気
にならない

コントロール感
人生・行動をコ
ントロールでき
ているという実
感がある

自己意識の消失
自己意識がなくなる
。他人が自分をどう
見ているかという思
いから無縁の状態。

時間感覚の変容
時間の間隔が全く変わっ
てしまう。1時間が数分
に感じられたり、あるいは逆に長時間感じられたりする

OTプランの修正

- 目標の再設定
- フィードバックが得られやすいように代償や習得モデルも使う
- 課題と能力の合った課題設定（達成可能な課題）
- 本人が受け入れられる（ストレスのない）課題



目標の再設定

| 作業課題 | 遂行度 | 満足度 |
|------------------------------------|-----|-----|
| 洗い物をするときに左手で食器を支えて1人分を10分くらいで終える | 7 | 3 |
| 料理を早く作れるように包丁で切る際に左手で食材を支えて切りやすくなる | 4 | 3 |
| 冬物の着替えが10分くらいでできる | 3 | 5 |

COPM

OT訓練の様子

1 食器洗い

麻痺側は食器を抑える程度の参加動作の反復練習を主に行う



2 食材を切る

左手で支えることではなく、早く食材の下揃えができることに焦点を当てる

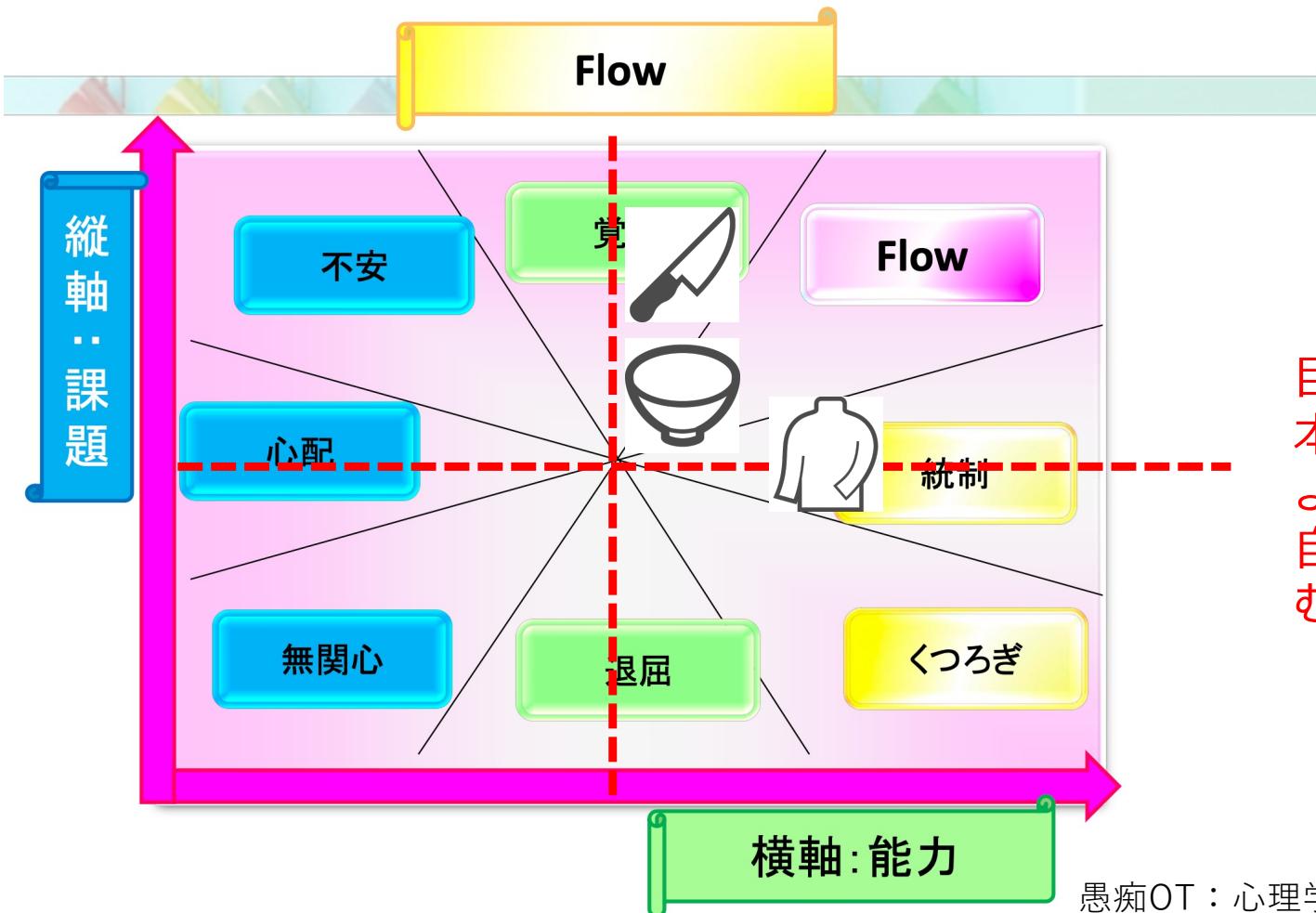


3 冬物着替え

着替えだけでなく、その後の片付けまで見越して動作手順を一緒に考える



リハ課題の難易度

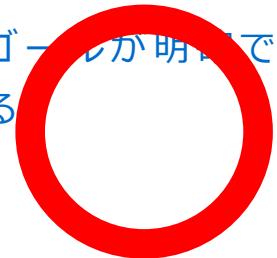


目標を具体化し、課題を本人の能力で達成できるように調整したことで、自宅でも積極的に取り組むようになった。

フローの条件

目標設定

ゴールが明確である



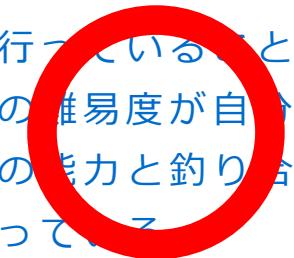
フィードバック

やっていることのフィードバックが即座にある



活動と能力

行っていることの難易度が自分の能力と釣り合っている



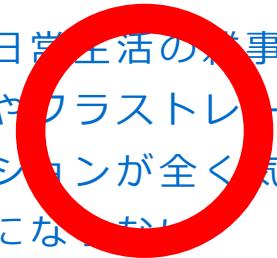
注意の集中

今行っていることに完全に集中している



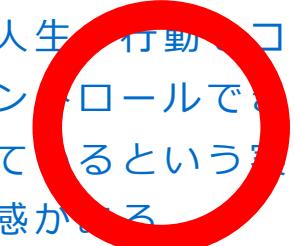
気にならない

日常生活の出来事やフラストレーションが全く気にならない



コントロール感

人生の行動、コントロールできるという感覚がある



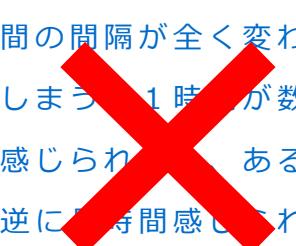
自己意識の消失

自己意識がなくなる。他人の自己をどう見ているかという思いから無縁の状態。



時間感覚の変容

時間の間隔が全く変わってしまう。1時間が数分に感じられる。あるいは逆に1時間感じられる



3ヶ月後に再評価

| 作業課題 | 遂行度 | | 満足度 | |
|------------------------------------|-----|----|-----|---|
| 洗い物をするときに左手で食器を支えて1人分を10分くらいで終える | 7 | 8 | 3 | 7 |
| 料理を早く作れるように包丁で切る際に左手で食材を支えて切りやすくなる | 4 | 5 | 3 | 6 |
| 冬物の着替えが10分くらいでできる | 3 | 10 | 5 | 9 |

COPM

現在の本人の状況



着替えは問題なくなりました

手は動きにくいけど、料理は前よりできるようになってきました

洗い物をするときに手の力が抜けてやりやすくなりました

買い物も前より上手くできます

外を歩くことにも挑戦しないといけないと思います

**不安の強かった外を歩くことにも挑戦するようになり
再就職に向けても前向きに考えている**

まとめ

- ・不安の強い事例を担当した
- ・事例にとって難易度の高いか課題では不安を強める結果となった
- ・フロー理論をもとに、事例の能力に応じて課題の設定や取り組み方を調整した
- ・課題に積極的に取り組むようになり、新しい課題に挑戦するようになった